

令和5年8月 新宮町教育委員会定例会 会議録

1. 開催日時

令和5年8月25日（金） 9時24分から10時18分まで

2. 場所

新宮町役場 3階 第2委員会室

3. 出席者

小川教育長、吉松委員、横山委員、本多委員

4. 欠席者

小池委員

5. 出席職員

森学校教育課長、桐島社会教育課長、三船学校教育課長補佐、高木社会教育課長補佐、大里指導主事

6. 欠席職員

高口指導主事

7. 日程

○ 日程第1 開会の宣告

（小川教育長）

ただ今から8月の教育委員会定例会を開会いたします。

本日は、小池委員が欠席となっておりますので、出席委員は3名です。

事務局職員は、高口指導主事が欠席です。

9時24分開始

○ 日程第2 会議録署名議員の指名について

（小川教育長）

会議録署名議員は会議規則第17条の規定により、教育長及び会議で決めた委員の1名となっておりますので、今回は横山委員にお願いいたします。

よろしくお願いいたします。

○ 日程第3 教育長の報告事項

（小川教育長）

- ・令和5年度福岡県市町村教育委員会教育長研修会の報告及び説明

(小川教育長)

質問等はありませんか。(特になし)

○ 日程第4 諸報告

1) 学校教育課の報告について

(森学校教育課長) (資料により学校教育課の報告)

① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定
- ・ 全国学力・学習状況調査について  
(詳細は、大里指導主事が説明)
- ・ 令和5年度就学時健康診断について
- ・ 今後の幼稚園運営について
- ・ 工事の状況について  
(詳細は、三船学校教育課課長補佐が説明)

② 連絡事項

- ・ 令和5年度の教育要望にかかる人権・同和教育研修会について  
(詳細は、三船学校教育課課長補佐が説明)

(小川教育長)

質問等はありませんか。

(本多委員)

新宮町の児童・生徒の学力と学習状況の実態ということで結果を見せていただきましたが、昨年度に続いて、先生方の御尽力と子ども達の頑張りで良い結果が出て本当によかったと思ったのですが、1ページの中学校の結果について、全国平均と比べた場合に、国語科がプラス18.2ポイントで、数学がプラス10.0ポイント、英語がプラス3.4ポイントといずれも全国平均を上回っており、とてもいい成績ではあると思うのですが、英語が3.4しかポイントプラスがないのは何故なのかなと単純に疑問を持ったということ。それから、最近の報道で見たのですが、やはり日本の英語教育の水準が非常に低いということで、国全体のことで、文部科学省がカリキュラムやシラバスなどの中身を変えていくことや、大学入試制度など大きな枠組みが変わらないと改善しないとされています。これは、これまで何十年と言われてきていることではあるのですが、それでもやはり草の根的な活動などで少しでも改善につなげることができるとは思っているのではないかと考えています。当然ながら、今でも先生方に御尽力いただいているとは思いますが、新宮町でも国語科が18.2ポイントプラスなのに、英語が3.4ポイントプラスしかないというのが非常に気がかりで、何か策がないものかなと思います。

今は小学校から英語が始まっていますが、今回は小学校の英語の試験はなかったようですが、小学校からの長いスパンで一貫した取組で、英語科の強化対策のようなものを新宮町でも考えていく時期ではないのかなと少し感じております。

もう1点が、先ほど教育長の報告の中で、不登校対策の話があったのですが、新宮町でも学校に行けない子ども達がオレンジルームに通った分を出席として取り扱い、卒業させるというような策をとられるなど、不登校の子ども達に関して非常に各学校、先生方のほうで一生懸命に取り組んでいただいているところだと思います。

そもそも日本においては、中学校は義務教育なので1日も学校に行かなくても年が経ってしまえば卒業が出来てしまうようなシステムが元々あったりすることもあると思うし、そもそも不登校はいけないことではないという考え方はあると思うのですが、イギリスやアメリカなど欧米のほうでは、ホームスクーリングのシステムが非常に発達してまして、1年からではなくて、数か月の期間からでも選べるようになっていきます。小学校でも卒業まで全てホームスクーリングでいくというようなことも可能です。そのように色々なシステムが州によって違ったりはするのですが、両親または親族が申請をして国がその資格を認めれば、自宅にカリキュラムや教材が送られてきて、それを自宅で暮らしながら体育も含め全ての教科をホームスクーリングでこなしていく、その認定された結果で大学受験をして大学に入っていくという子も非常に数多くいるというのが実例なのですが、日本ではまだなかなか知られていないし、認可もされてないのですが、そういう事例が世界にはあるのだから、これからそういうところにも目を向けていければいいのではないかと思いましたので、ここで共有させていただきました。

(小川教育長)

2点目の不登校の部分については、今の欧米の取組については、日本の場合はまだ導入されてないのですが、そういったシステムについては、やはり今後考えていく必要があるのかなと思いますので参考にさせていただきます。

昨日の新聞に掲載されていたのですが、福岡市が不登校学校特例校を開校するというので、福岡市の教育センター内に設置されるようですが、不登校学校特例校を設置したとしても、実際に学校に行けていない子がいたとして、その不登校特例校なら行けるのだろうかと思うところもあります。そのため、今、本多委員がおっしゃったようなシステムであったり、今、実際に効果を上げているのは、学校には行かないけどオンラインにより不登校の子と家庭、学校またはそういう支援者とが個別につながっていくということで、子ども達は学校に行くというストレスを感じることなく学習できるという効果が出ているようです。今後も色々な要素、要因を探りつつ、今の御意見も参考にしながら取り組んでいく必要があると感じました。

(大里指導主事)

2週間程前に新宮中学校に、若年教員1年目の英語教諭の授業を見せていただきました。非常にフレッシュでしたが、やはり指導技術等には、まだ、多々課題があると感じました。

やはり、全国学力・学習状況調査の問題を学校がどう捉えるか、英語教諭がどう捉えるかというところが一番大事なのかと思いました。国が求めている学力というものを認識して、全国学力・学習状況調査に対する対策ではなくて、その問題を解く力というものが国の求めている学力であるという認識をして、それを授業の中で力をつけていくという考え方で、授業改善を行っていく必要があるのではないかと考えていま

す。その結果、全国学力・学習状況調査の実施状況結果等が徐々に変わっていくのではないかと推測をしまして、そのような働きかけを中学校のほうにしていきたいと思っています。

(小川教育長)

今回の問題が、国が求めている英語の学力の水準なのですが、日本教育新聞にも掲載されていたのですが、今回出題された英語の問題は少し難し過ぎたと。そのため、実際に今の中学生のレベルと問題と少し合っていない部分が見られ、その結果、他の教科よりも点数が少し低く出てしまったということのようです。そこで私が心配したのは、新宮町も全国や県平均よりも下がるのかと思ったら、そういう状況からすると今回の上がり率は他の教科よりも少し下がりますが、まずは全国・県を上回った点数を出したのはさすがだなと思いました。また、併せて指導主事が申しました授業の在り方などもさらに研究していきながら、国語、数学と同じように伸び率を高めていく授業づくりを本町で進めていければと考えます。

(本多委員)

今、問題のレベルが少し高過ぎてという話がありましたが、確かにそうだろうなというふうを感じるのは、教科書が改訂されて教科書の内容が、もう10年、20年、30年前に比べたら一気に英語科は特にレベルアップが飛躍し過ぎてるのではないかとと思うくらいです。昔、高校1年生や2年生で教えていたような文法や単語であるとか、テーマも非常に多岐にわたって、難しい社会問題を意識した問題が多く入っているので、それは仕方がないのかなというふうに思うのですが、ただ、一つ本当に私が懸念しているのは、高校の先生方というのは、やはり大学受験に向けて、レベルの高い生きた英語を、読み書きの方が中心ではあるのですが、かなり、研鑽されるようです。教科書が改訂される前までの中学校の英語というのは、ここまでのことさえ教えておけば、この先は高校で教わるからということで、ある中学校の先生は、一つ下の段階のレベルをぐるぐる回っておられる方が非常に多いという印象でした。そのような中で教科書が改訂されたことにより高校とのつながりが一気に多く出てきたものですから、その部分の先生方の考え方の転換であるとか、御自身の研鑽というのが、少し負担が大きくなってきていると思います。30年前に教えたとおりに教えても、もう今の教科書では太刀打ちできないことになっているので、現場でも使えるようなオーセンティックな英語を教えるということを国も目標にしているようなので、そうであれば、やはり先生方が高校、それから先を見据えた英語を小・中学校で基礎をつくるという意識を持ってもらう必要があるし、その部分の大改革をしなければならないのは、多分教員側ではないのかなと私は思います。しかしながら、教職員の働き方改革も進めていく中で、これ以上の教員の研修を増やすというのは非常に厳しい現状もあることも認識していますが、中学校の英語科の先生方が一番その研修が必要なのではないかと感じています。そして、その対策も、ここ1年から3年でやらなければいけないのではないかと感じています。現状のままでは、多分英語科の成績は上がらないのではないかと感じています。

(吉松委員)

私も新宮町の学力学習状況調査の結果を見せていただいて、英語がやはり県全体から見ても成績結果が低いとニュースでも取上げられていたのですが、新宮町はどうなのかと思い見せていただいたら、しっかり分析してくださっていましたが、英語を聞き取るということなのではないでしょうか。リスニングの力というところですね。そのようなことから、今後も色々しなければならぬことがある中でも、その結果に目を向けて、授業改善をしていただくということは、この結果が一つのヒントにもなるのではないかと思います。

もう1点は、8月29日から新学期が始まりますが、それに向けて、今、不安を抱えている子ども達がたくさんいると思います。毎年のことなので、校長先生をはじめ先生方がいつも手厚く対応してくださっているとは思いますが、また改めて、不安を抱えている子ども達が不安なく登校できるようにというメッセージを個別にでも結構だと思うので、電話でも何でもしていただけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

## 2) 社会教育課の報告について

(桐島社会教育課長) (資料により社会教育課の報告)

### ① 報告事項

- ・ 経過報告
- ・ 今後の予定

### ② その他

- ・ 町立図書館利用状況及び行事予定について

(小川教育長)

質問等はありませんか。(特になし)

## ○ 日程第5 その他

### 1) 教育委員会定例会の日程について

(森学校教育課長) (日程確認)

- ・ 9月定例会  
令和5年9月27日(水) 9時30分から (確定)
- ・ 10月定例会  
令和5年10月30日(月) 9時30分から (予定)

## ○ 日程第6 閉会の宣告

(小川教育長) 以上で8月の新宮町教育委員会定例会を閉会します。

10時18分終了

署名 教育長 小川 隆 弘

---

署名 委員 横山 英 治

---